

社会

第3学年

育成を目指す資質・能力

【話し合う力】【自己有用感】

「グローバル企業が変えたもの」

私たちと現代社会 – 社会のグローバル化って何だろう? –

【単元の概要】

グローバル企業の一つである北欧の家具店が広島に出店するという新聞記事をきっかけに、グローバル企業が進出すると進出先の国や地域の人々の生活や環境にどのような影響を与えるのだろうかという課題を発見し、課題に対して仮説を立て検証を行う学習を行います。その過程で、学習者は「社会のグローバル化」という社会的事象を説明する見方・考え方を身に付けていきます。

◆単元の目標

社会のグローバル化の特質について、家具の販売を事例に、グローバル企業の経済活動とその影響を通して理解する。

◆単元の計画（全7時間）

【課題の設定（1時間）】

・「グローバル化が進むってどんなことだろう?」という問いに対する予想を行い、事例検証を行う中で、グローバル化の持つ多次元性（文化的次元・政治的次元・経済的次元・エコロジー的次元・イデオロギー的次元）を理解する。社会のグローバル化の意味理解が図られたところで、グローバル企業の一つである北欧の家具店が広島に出店するかもしれないという記事を取り上げ、グローバル企業が世界に進出すると、その国の地域や人々の生活や環境にどのような影響を与えるのかな?調べてみよう!という課題を発見し設定する。

【情報の収集、整理・分析、まとめ・表現、振り返り①～④（4時間）】

・1時間目で発見した課題を2～5時間目の4時間の中で、北欧の家具店や様々なグローバル企業の取組や、社会のグローバル化の中で努力している国内伝統企業の一つである国内の家具店などへの実際のインタビュー結果等を事例に取り上げる。

・それぞれの授業時間で社会のグローバル化の特質である「相互作用・標準化・雇用創出・税収入・経済格差・国内伝統産業との摩擦」等をグローバル企業の経済活動が及ぼす影響として捉える。

「フランスワールドカップの時から児童労働でつくられたサッカーボールを使わなくなったのはなぜ?」という課題の追究を通して、グローバル化の特質である雇用創出や経済格差等について捉える。

「どうして北欧の家具店は植林を行っているのかな?」という課題の追究を通して、グローバル化の特質を環境保護や人権保障の視点から捉える。

「北欧の家具店はDIYという売り方をしていると聞いていたけど、先生が取材しに行った船橋にある北欧の家具店ではちょっとそれとは違うサービスをしているよ!変だな!?どうしてだろうか?」などと探究したくなるような発問を授業ごとに行う。

・解決のために各授業の中で既習事項を根拠としながら話し合い、予想と検証を反復する。

・検証を通して、北欧の家具店の行うサービスの目的や国内の家具産業や地域の人々への影響等を捉える。

【まとめ・表現、実行（1時間）】パフォーマンス課題としての企画書

・社会のグローバル化とは何かについてより深く考えるために、当事者の一つの立場に立ち、「グローバル企業の経営者になって、グローバル企業をつくり商品開発を行ってみよう!」という企画書の作成を夏休みの課題とし、完成までの計画を立てる。

【実行】長期休業を利用したパフォーマンス課題の完成

・長期休業中に、グローバル企業の経営者として商品開発を行うために、参考にしたい企業、生産者、広島や廿日市市に観光等で訪れている外国の方々へのインタビューなどのフィールドワークを行い、企画書を完成させる。

【振り返り（1時間）】

・単元全体を振り返り、「社会のグローバル化」について自分の考えをまとめる。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
数学	3	平方根
理科	3	運動とエネルギー
技術・家庭	1	未来の廿日市市の電力供給を考えよう～廿日市市のよりよい未来の電力供給法を見いだす～
	1	T.P.Oに応じた服装を考えよう!～めざせ!ファッションコーディネーター～
外国語	3	Presentation 1 日本文化紹介
総合的な学習の時間	2	ふるさと廿日市市や広島のPRポイントを他の地域や国々の人々に発信しよう!